

【様式】

令和8年度 学校マネジメントシート

学校名( 飯野高等学校・全日制 )

1 めざす姿

(1)めざす学校の姿	地域から信頼され、生徒が「自分らしさ」を発揮できる学校	
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	○自分と他者の違いを認め、自分を大切にし、他者を思いやることのできる生徒 ○基礎基本の力を身に着け、信頼される社会人として地域に貢献できる生徒 ○専門的な知識、技能の習得を通じて、自由で豊かな表現力、創造力を発揮できる生徒
	ありたい教職員の姿	○生徒一人ひとりの背景や課題を理解し、適切に支援できる教職員 ○授業力・指導力の向上に向けて学び続け、協働して教育活動を推進する教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<b>【生徒】</b> 専門的な知識・技能の向上、楽しく充実した高校生活 <b>【保護者】</b> 卒業後に自立できる基礎力と専門性の涵養 <b>【地域】</b> デザインや語学力を活かした活動など、飯野高校ならではの社会貢献	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<b>連携する相手からの要望・期待</b>	<b>連携する相手への要望・期待</b>
	<b>【保護者】</b> 高校卒業後の進路実現 <b>【中学校】</b> 多様な生徒の受け入れ <b>【地域】</b> 確かな学力と日本語力の育成	<b>【保護者】</b> 本校の教育に対する理解と学校の活動に対する協力 <b>【中学校】</b> 高校生活に適応できる生徒の育成 <b>【地域】</b> 企業等の積極的受け入れ
(3)前年度の学校関係者評価など	・飯野高校は優秀な人材を社会に送り出す重要な役割を担っている。それぞれの学科が魅力ある取り組みをしている。 ・飯野高校の目指す学校の姿、魅力を発信し、中学生にもしっかりと伝わるようにしてほしい。 ・中学校とも協力しながら多文化共生に取り組んでいく必要がある。	
(4)現状と課題	教育活動	専門性の高い特色ある教育を通じて、成果、実績を積み重ねてきており、引き続き、生徒の学習意欲向上につながる学びの質の向上が必要である。 CLD生徒の増加に伴い、日本語指導や学習支援体制の充実が求められている。 基礎学力や基本的生活習慣、進路意識が十分でない生徒もおり、そのことが進路実現の遅れや自己肯定感の低下につながっている。
	学校運営等	教職員に過度な負担を強いることなく効果的に業務を進めるため、ICT化を適切に進め、さらに分掌間の連携を強め業務の精選を進めるとともに、組織的な指導力向上が求められる。

### 3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒一人ひとりの進路実現をめざし、基礎・基本の定着</li> <li>2 多文化共生・人権教育の推進（ウェルビーイングの実現）</li> <li>3 コミュニケーション能力の育成をめざした学習活動の推進</li> </ol>
学校運営等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 組織的な生徒支援の構築</li> <li>2 教職員の資質向上</li> <li>3 教職員のコンプライアンス意識の向上</li> <li>4 保護者及び地域との連携協力の強化</li> <li>5 働き方改革の推進</li> </ol>

### 4 求める生徒像

入学時に期待される 生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	<p>(応用デザイン科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 美術・デザイン表現に優れた資質をもつ者</li> <li>○ 将来の夢の実現に向けてチャレンジする向上心がある者</li> </ul> <p>(英語コミュニケーション科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語の学習に興味をもち、入学後も学習活動に意欲的である者</li> <li>○ 英語を生かした将来の夢の実現に向けてチャレンジする向上心がある者</li> </ul>
-------------------------------------	--

### 5 本年度の行動計画と評価

#### (1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
キャリア教育の推進	<p>(1) 進路意識向上のための取組</p> <p>①進路ガイダンスと事前事後指導の充実</p> <p>②インターンシップの実施（2年次）</p> <p>【活動指標】ガイダンス 年間10回以上(全学年のべ)、インターンシップの実施</p> <p>【成果指標】進路意識が高まったと回答した生徒80%以上</p> <p>(2) 進路希望実現のための取組</p> <p>【活動指標】模試等の積極的な受験 「我究」の年間20回以上の開講</p> <p>【成果指標】進路決定率（進学・就職）85%以上</p>		◎
CLD生徒支援教育の充実	<p>(1) 日本語能力による習熟度編成や支援員サポート</p> <p>【活動指標】支援員の授業サポート10講座以上</p> <p>【成果指標】TTVJの複数回数実施による点数の向上</p> <p>(2) 日本語能力の向上</p> <p>【活動指標】日本語能力試験の受験申込補助年2回</p> <p>【成果指標】第1言語が日本語ではない生徒のN3以上の合格率60%以上</p>		

	<p>(3) 奨学金の申込など経済的に困難な生徒・家庭への支援  <b>【活動指標】</b> 説明会、申請手続き指導を年間5回以上</p>		
<p>自己指導の          能力の          育成</p>	<p>(1) いじめの早期発見と防止に向けた取組  <b>【活動指標】</b> 学期に1回の面談と、事前アンケートの実施          4月、11月のいじめ防止強化月間          「IINO ピンクシャツデー」の実施</p> <p>(2) 生活習慣の改善に向けた取組  <b>【活動指標】</b> 身だしなみ指導 毎朝          学校遅刻者への声かけ・指導 毎朝          スマホ使用に関する講話実施          各学期始め、終わりに全体講話  <b>【成果指標】</b> ネクタイ・リボンの着用率 100%          イエローカード発行枚数 650枚以下          学校遅刻数 年間2700人以下          生活習慣アンケート「スマホ使用時間」の減少</p>		<p>※</p>
<p>人権、多文化共生、命の大切さについての学びの充実</p>	<p>(1) 人権についての理解と知識を深め、互いを尊重する意欲と態度を育むための人権学習の実施  <b>【活動指標】</b> 年間5回以上</p> <p>(2) 人権学習や人権に関する取組等の発信  <b>【活動指標】</b> 「人権だより」の発行を年間3回以上</p> <p>(3) 教員の人権に関する研修等の実施  <b>【活動指標】</b> 教職員研修を年間1回以上          教職員向け「人権だより」の配信を年間3回以上  <b>【成果指標】</b> 人権に対する意識や理解の深まりを感じた教職員数70%以上</p>		<p>◎</p>
<p>基礎学力の向上及び健康意識の確立</p>	<p>(1) 基礎学力の向上  <b>【活動指標】</b> 補習や各教科の宿題等を定期的実施          基礎学力向上(国語・数学・英語)の取組  <b>【成果指標】</b>          ・基礎学力、学習習慣が身についたと感じた生徒の割合70%以上</p> <p>(2) 健康の自己管理の確立  <b>【活動指標】</b> 日常からの体調管理と適切な栄養摂取  <b>【成果指標】</b> 朝食をとる生徒の割合80%以上</p>		
<p>改善課題</p>			

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
授業改善を図るための教職員の指導力向上	<p>(1) 授業改善に係る研修会の実施</p> <p>【活動指標】 授業見学または授業公開を年間2回以上 授業改善に係る教職員研修会の実施</p> <p>【成果指標】生徒が授業を理解できている割合90%以上</p>		
地域への貢献活動と情報発信	<p>(1) 鈴鹿ロータリークラブとの交流、連携</p> <p>【活動指標】地域の清掃など貢献活動の実施1回</p> <p>(2) 中学校との情報共有</p> <p>【活動指標】各中学校や市教委が開催する進路説明会へ教員と生徒が参加 5回以上</p> <p>(3) 異校種連携</p> <p>【活動指標】小学校で出前授業 2回以上</p> <p>【成果指標】受入校児童および本校参加生徒のアンケート満足度90%以上</p>		
情報提供、情報発信による信頼の構築	<p>(1) 生徒、保護者の学校に対するニーズや信頼度等を把握するためのアンケートの実施</p> <p>【活動指標】アンケート 年間1回(12月実施)</p> <p>(2) 生徒、保護者へ情報提供</p> <p>【活動指標】マチコミメール等を年間40件以上</p> <p>(3) HP、たより等による情報発信</p> <p>【活動指標】①HPの新着情報を年間35件以上 ②「保健だより」を年間11回以上配付 ③「図書だより」を年間11回以上配付</p> <p>【成果指標】保護者の学校に対する信頼度90%以上</p>		
職員の総勤務時間の短縮及び職場環境の整備	<p>(1) 総勤務時間の縮減</p> <p>【活動指標】①設定した日(年間12日)の定時に退校できた職員の割合95%以上 ②予定通り休養日(週1回以上)を実施できた部活動の割合100% ③放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合90%以上 ④年間の学校閉校日を4日</p> <p>【成果指標】①時間外労働時間 15.4時間/月</p>		

	②休暇取得日数 年間 19 日以上 ③月 80 h 超の時間外労働者延べ人数 0 人 ④月 45 h 超の時間外労働者延べ人数 0 人 ⑤年 360 h を超える時間外労働者数 0 人 (2) 安心・安全な職場環境づくり 【活動指標】「信頼される学校であるための行動計画」の周知および実施		
改善課題			

項目	取組内容・指標	結果	備考
		(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			

6 学校関係者評価

明らかになった 改善課題と次への 取組方向	(年度末に記載)
-----------------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動について の改善策	(年度末に記載)
学校運営について の改善策	(年度末に記載)